

新学期、目的をもって始めよう。

茗溪塾塾長 長谷 誠基

新年度が始まりました。今年は卒業式や入学式も無事行われ、昨年よりも日常が取り戻されつつあるような気がします。ちょうど1年前は緊急事態宣言が出され、授業を映像にしたり質問ルームを開いたり、4月の行事を中止にしたりとなかなか例年のような指導が出来ず、今後について不安ばかりがつのっていたように思います。現在はもちろん油断はできませんが、対面の授業もやれていますので昨年よりは冷静に業務に取り組めているような気がします。

2月・3月の新学期開講、春期講習ときてこの4月は学校の新学期も始まりました。ここでこの1年をどのような1年にしたいのか？をぜひ考えてみてほしいと思います。1年後または2年後・3年後の目標に向かって、まずこの1年をどうするのか？受験生ならばできるだけ具体的に何をどうしたいのか？を決めましょう。どう考えていいかわからない人は、もともと塾に通い始めたきっかけは何だったのか考えてみると自ずとわかるのではないかと思います。最初は「学校の成績を上げたい」とか「数学の苦手を何とかしたい」とか、「受験に合格する力をつけたい」とか何か目的があったはずですが、もしかしたら今それを見失っているかもしれません。そして目的を確認したら、それを達成させるためにはどうすればいいのか？を考えてみましょう。成績を上げるためにはまず勉強法を身につけなければいけません。春期講習に参加してくれた皆さんはそのヒントをもらっています。そうです。一番重要な勉強法は「やり直し」の学習なのです。春期講習中は毎日、その日にできなかった問題をその日のうちに解き直す「その日学習」というものを「その日学習ノート」にやっていました。この勉強をぜひ続けてほしいのです。春に先生たちにうるさく言われてもううんざり、なんて人もいるかもしれませんが、それだけ大事だからとってください。3月に行われた入試報告会での生徒インタビューや今後発行される合格体験記(今年は簡易冊子として小学生版、中学生版を発行。完成次第お渡しします。是非ご一読ください。)でも合格した先輩たちは口をそろえてこのことを話しています。春期講習中ほどたくさんでなくてもいいので、少しずつ続けて行ってください。その先に必ず成績の上昇が見えてきます。

2月・3月の学習の習慣作りから一歩進めて4月・5月で「目的を持って始める」へ、その始めることの1つとして「やり直し」「その日学習」の定着を目指しましょう。